

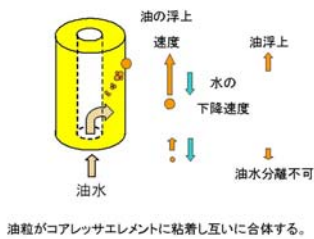
HFM型ビルジセパレータ(IMO Res. MEPC.107)

第3室 コアレッサ

- ・第2室と第3室の差圧が0.07MPa (0.7bar) 以上に上昇した場合、蒸気または温水洗浄を行ってください
- ・6ヶ月に一回開放点検・分解洗浄を行ってください
- ・6ヶ月に一度垂鉛板を点検してください

・解乳後の油分の90%以上が本筒で分離・除去される

コアレッサによる油水分離



第1から2室の間 T型ストレーナ

- ・第1室と第2室の差圧が0.04MPa (0.4bar) 以上に上昇した場合、ビルジポンプ運転状態で、ストレーナ底部ドレンコックを開き、ストレーナ頭部のハンドルを2~3回転させて清掃を行ってください。

第2室 解乳化材

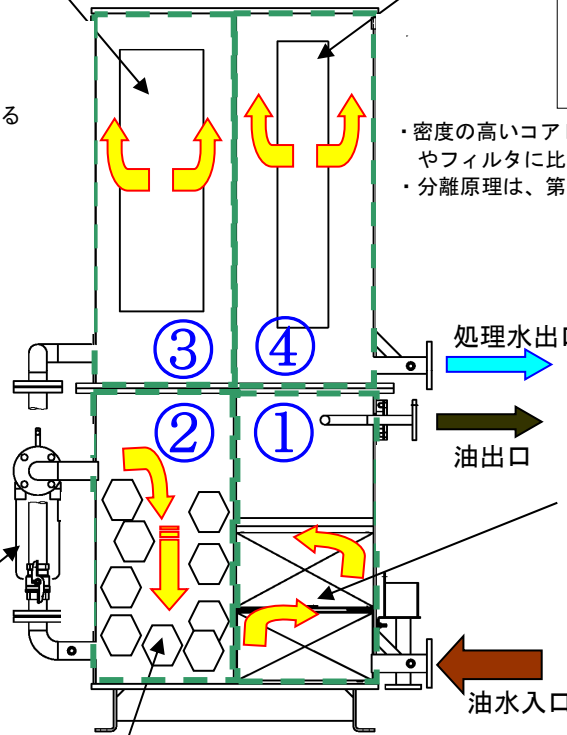
- ・6ヶ月に一回、充填量を確認し、減っていれば、充填してください。(取扱説明書を参照)
- 洗浄、および交換の必要はありません。

- ・エマルジョンを元の油の状態に戻す(コアレッサで分離・除去可能)
- ・エマルジョンブレーカ (EB) は固形物で消耗は微小
- ・経時変化による性能劣化はなく、洗浄、および交換は不要
- ・EB は、ビルジ中の異物による目詰まりはしない

第4室 精密コアレッサ

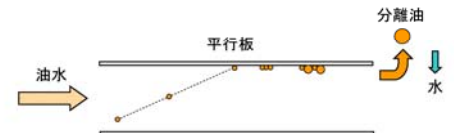
- ・第3室と第4室の差圧が0.1MPa (1bar) 以上に上昇した場合、圧縮空気で表面の堆積物を取り除いてください
- ・0.1MPa (1bar) 未満に差圧が下がらない場合、予備品と交換してください

- ・密度の高いコアレッサを使用しているが、メンブレン(膜)やフィルタに比べ、交換頻度は極めて少なくしている
- ・分離原理は、第3室と同じである



- ・第3室を洗浄する際に、同時に開放洗浄してください
- ・6ヶ月に一度垂鉛板を点検してください

平行板による油水分離



* お取り扱いの詳細につきましては、弊社 HFM 型ビルジセパレータ取扱説明書をご参照ください。